

さわやかCPAP便



医療法人社団
大竹内科呼吸器科医院
H26年05月発行

第46号

気温が上昇し、過ごしやすい日が増えてきました。今の季節が結露や花粉に悩まされず1年で1番CPAPが気持ちよく使用できるのではないかと思います。CPAPを使用し、疲れた体をぐっすり眠ってしっかり休めましょう。

事故

宮城交通のバス事故から2か月ほどたちました。はっきりとSAS(睡眠時無呼吸症候群)とは断定されなかったものの、簡易検査で陽性だったと取りざたされました。SASのことが比較的知られるようになった現在でも、SASが関与した事故は後を絶ちません。「いつもの眠気」や「いつものイビキ」にSASのリスク、ひいては交通事故をはじめとする社会的な事故のリスクが潜んでいるということを改めて考えてみましょう。



(朝日新聞掲載)

山形県では車は1人に1台は当たり前のようになっていますね。では、山形県の交通事故発生状況を見てみましょう。

| | 発生件数 | 死者 | 負傷者 |
|-------------|--------|-----|--------|
| 2013年 | 7,082件 | 45人 | 8,752人 |
| 2014年4月20現在 | 1,881件 | 10人 | 2,246人 |

発生事故 7,082+1,881 件中いったい何件にSASが関係しているのでしょうか？

SASによって生じる日中の眠気は、判断力や集中力・作業効率の低下を招き、SASによる居眠りは仕事や運転に影響を及ぼします。運転中の眠気の経験がある人は、非SASの人と比較して**4倍**、居眠り運転ではなんと**5倍**という調査結果もあります。2003年からは、運転免許の取得や書き換え時眠気のアンケート調査も行われるようになりました。

運転中の眠気・居眠り運転の経験割合

非SASの人でも事故を起こさないわけでは
ありません。しかし、
SASの人はCPAPを
しっかり使用することで
はじめて非SASの人と
同様の交通事故率と
なるのです。



(臨床精神医学より)

SAS と交通事故をめぐっては、SAS 症状が事故にどう影響したかが争点の 1 つになり、過去の裁判でも判断がわかれています。全国の過去の主な SAS に関する事故をみてみましょう。



| 事故発生年 場所 | 事故状況 | 判断・判決 |
|--------------|---|--|
| 2003 年 岡山 | 山陽新幹線で運転士が居眠りしたまま運転。 けが人なし。 運転士は SAS と診断。 | 本人に SAS の自覚が なかったとし執行猶予 |
| 2005 年 滋賀 | 名神高速道路でトラック・バスなどを含む多重事故が 発生。 男性 7 人死傷。 トラック運転手は重度の SAS と判明。 | 禁固 3 年の実刑 |
| 2008 年 山形 | 高速バスの運転士が眠気を催し走行不安定に。 乗客がバスを停止し事故を防いだ。 軽度の SAS が判明。 | 刑罰なし |
| 2008 年 愛知 | 大型トレーラーが赤信号の交差点に進入。 横断中の男性が死亡。 運転手は重度の SAS と判明。 | 懲役 5 年の実刑 |
| 2009 年 長崎 | 遊漁船が岩場に衝突。 釣り客ら 3 人が死傷。 船長が SAS で慢性的な睡眠不足であったと判明。 | 業務上過失致死容疑 書類送検 |
| 2012 年 群馬 | 関越自動車道で走行中のツアーバスが運転手の 居眠りにより防音壁に衝突。 乗客 45 人が死傷。 運転手は SAS が確認された。 | 懲役 9 年 6 月の実刑 |
| 2012 年 東京 | 渋滞中の首都高速湾岸線でトラックがワゴン車に衝突。 眠気から仮眠状態に陥るまで 1.5 キロ、さらに事故に 至るまで 1.5 キロを走行していた。 ワゴン車の 6 人が死傷。 トラック運転手は SAS と確認。 | 眠気を感じなかったと無罪を 主張するも、自動車運転過失 致死傷害罪で在宅起訴。 係争中 |

だんだん SAS による事故の刑罰が重くなっている印象を受けます。自分自身の自覚以上に体は正直なものです。大丈夫という安心感はどこからくるのでしょうか？ 老化によっても判断能力はだんだん低下してきます。できるだけ事故のリスクをさけることが求められます。

SAS とわかっていながら治療をせず事故を起こした場合や、CPAP 治療をしていても、あまり使用せずに運転し事故を起こした場合には「罪に問われる」可能性があります。事故には経済的・精神的・社会的に大きな代償が伴います。しっかり CPAP を使用し仕事や作業の効率をあげ、また事故を起こさないように気を付けましょう。

特に、職業運転手の方は自分自身の身を守るためにも今一度考えてみましょう。

